

整理整とんが苦手で机の周りが常に散らかっている。

ある教室の中で・・・

小学3年生のS君の机の周りは、体育着や紅白帽子、ノート類、鉛筆、消しゴムなどが落ちています。机の中は、先月使った算数のワークシートや返却されたテストなどのプリント類であふれています。ロッカーも乱雑で物がたくさんつまこまれています。学校からの大切なお知らせもすぐになくしてしまいます。



どうしてだろう？

(Sくんはどんなタイプかな？)

- 散らかっていても平気？
- 片付けるのが面倒くさい？
- いつも他のことに気をとられている？
- いるものといらないものを分けられない？
- 動作がぎこちない？

(担任の先生はどんなタイプかな？)

- 児童への指示が不明確？
- 失敗ばかりを強調している？



今日からできる一工夫

- ① クラス全員で各自の整理整とんをする時間を作る。
- ② 次の時間に使う教科書やノートなどを机の上に置いてから休み時間に入る。
- ③ 持ち物には名前を書く。
- ④ 連絡帳、ワークシート、配付物を入れるためのクリアケースや袋を使う
- ⑤ 具体的な指示を出す。
「しっかり片付けなさい」 ×
「ノートは机の中にしまえます」○

◎ 片付けや整理整とんが苦手な子どもに特別な対応を考えるというよりも、どの児童にとっても身の回りの整理は大切であるという視点で指導し、学級全体で共有化してはどうでしょうか。ロッカーの整理、衣服の折りたたみと収納など毎日続けることで習慣化が期待できます。家庭との連携も必要です。

中学校、高等学校では、「できているのが当たり前」とついつい考えてしまいそうですが、教師の見方・考え方の再考を！！